

【最上軌道有限会社】

○会社のモットー

上質で良質な工事施工と安全で安心して作業ができる職場環境造りをモットーに、鉄道事故完全を目指して日々作業を行なっております。

○課題

新入社員の雇い入れが課題。

現状からあと2〜3名を雇い入れ、会社規模と作業量の拡大を目標にしております。

○重点実施事項

基本動作の理解及び確認として基本動作の重要性を安全会議で主体的に教育を行い、基本動作の中でも確認会話・線路立入、退出時のケジメ・1+3運動を重点実施事項としております。

○若手育成の方針、進め方

現在、新入社員は入社1年を経験したことで作業等にも慣れてきたこともあり安心していきます。

自社の方針として作業毎に全員で打合せを行い、どんな作業をするのか？どんな危険があるのか？などを議論し、できる範囲で責任を持たせて、責任施工の意識付けを行ない、更なるレベルアップを図る取り組みを進めています。

○社長等のコメント（大窪代表取締役社長）

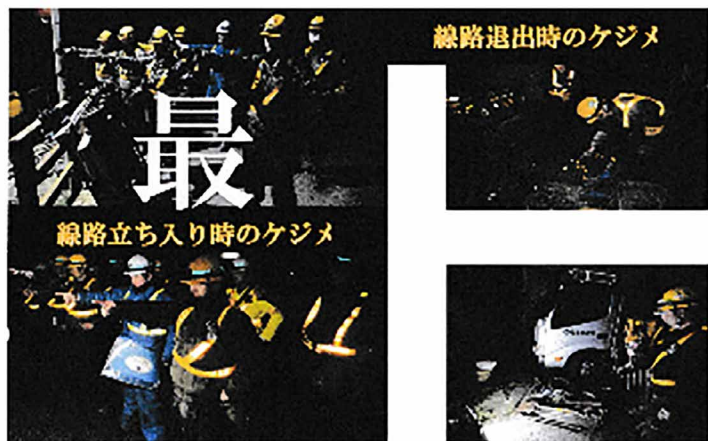
弊社は『私たちは家族です。』を掲げて日々より良い職場づくりを目指しております。一人ひとりが本当の意味での家族・仲間になれるよう、『言える化 聞ける化』を実行し、風通しの良い職場環境づくりに取り組んでおります。

連日連夜、厳しい環境の中での作業が続きますが、無事故を継続できるよう安全第一で作業に従事していきます。

○トピックス【ホキ車による道床取り卸し】

【基本動作の徹底ポスター】

線路立ち入り時のケジメを印象づけるインパクトのあるポスターを作成しました。『最』も『上』の安全を目指して、わざと暗めの写真を使い、白字の『最上』を際立たせて一人一人の意識を高めてもらえるように願いを込めて作成しました。



【ホキ車による道床取り卸し】

最近の作業の中でめったにやらない作業ということでトピックスにあげさせていただきました。

保技セの方々、社員の方々と綿密に打ち合わせを行い、無事に施工することができました。



経験者が未経験者に指導しながら、技術継承を行うことができました。今回の道床取り卸しからは学ぶことが多く、改めて打合せの重要性を再認識するとともに、技術継承のヒントを学ぶことができた大変貴重な作業となりました。



○職場のホープ 松井 準(まつい ひとし)38歳

前職の経験を活かして重機運転者として才能を発揮するとともに、機械整備、機材修繕方面にも明るく頼もしい存在であり、会社としても大いに助かっています。今後は更に機械化を進めて効率化を図っていくので、アイデアをどんどん出して試験する等、経験・才能を生かした取り組みに期待しています。

現場では主に列車見張り員に従事し、ダイヤ見誤り等間違ふことができない重要な業務についているという責任感を持ち合わせているので、来年度は軌作責の資格取得にチャレンジし、将来(数年後)は、軌作責として力を発揮していることを期待しています。

《鉄道経験》2年2か月

《抱負》 様々な資格を取得し、一人前の軌道工になる。

《特技》 何でも食べる。

《趣味》 子育て。

《夢》 マイホームを建てる。



○職場のホープ 大窪 竜二(おおくぼ りゅうじ)26歳

体格は小柄ですが、体力は充分！ 軌道工になってまだ2年生ですが、これからは期待される1番のホープです。得意工種は道床部分入替で、先を読んだ準備等配慮することで効率的に作業を進めています。今年度は列車見張り員の資格取得を目指しています。将来は軌作責の資格取得にもチャレンジし、若手のホープから若手育成にも力を発揮して従事してもらおう予定です。

わからないことは、先輩方に直ぐに聞く勉強家です。今後も継続して知識・技術を学んでレベルアップを期待しています。

《鉄道経験》1年4ヶ月

《抱負》 1つ1つの作業を確実に。事故を起こさない。

《特技》 球技 料理

《趣味》 バスケ 料理 映画鑑賞

《夢》 素敵な奥さんに出会いたい

